



お〜!!
おっきい〜!

ビッグな夏休みの体験!

こどもステーション牛久では、この夏はダイアキッズさん主催の『お相撲さんと遊ぼう』に参加させていただきました。子ども達は、本物のお相撲さんを目の当たりにしてドキドキ…。お相撲さんと一緒に「どすこい!どすこい!」と四股を踏んで準備体操をしたり、果敢な男の子たちはお相撲さんと取り組みをし、押し出しで見事勝利!!とってもかっこ良かったです。

怖がっていたお友達も職員と一緒に土俵に上がり、大きなお相撲さんと記念撮影をしました。素敵な体験ができた一日でした。



ききょう祭



今年のききょう祭は、当日の昼過ぎにゲリラ豪雨が一時的にあり、開催を心配する声も…。しかし、そんなスッキリしない天気も、利用者さんの元気に吹き飛ばされたのか、雨上がりには夏らしい暑い日差しが戻って来ました。

3年連続で出演して下さった「加茂学園吹奏楽部」や、三和福祉作業所の保護者もメンバーの一員である「USAバンド」の演奏には、会場也大いに盛り上がりました。

そして、イベントの最後に沖縄の伝統芸能である、エイサーを演舞して下さったのは、「ゆいまー龍覇」の皆さん。その歌声や太鼓の音に魅了された方もいたのではないのでしょうか。

皆様のおかげで、年々ききょう祭も規模が大きくなっていますが、来年はききょう会が始まって30周年！更に地域に根差した活気ある祭りになるよう、スタッフ一丸となって頑張ってくださいますのでよろしくお願いいたします。

加茂学園



USAバンド



龍覇 ゆいまー



学園行事

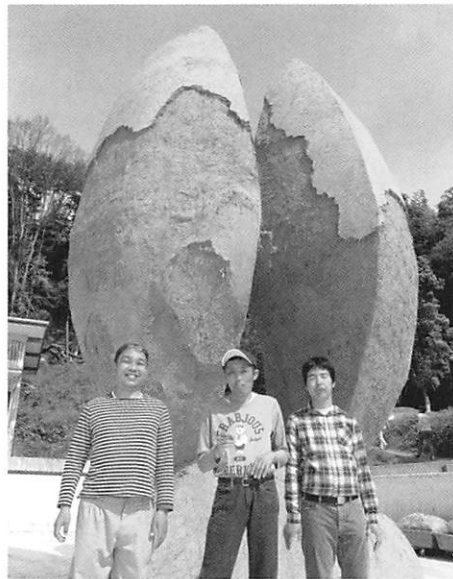
花見

4月13日に吉沢学園グラウンドでお花見をしました。平成20年に植樹した桜の木は今では身近なお花見スポットとなる程に大きく成長しました。前々日まで天候に恵まれず、桜の開花は七分咲きといったところでしたが、春の息吹を感じる中で食べるおやつは、格段「おいしいね」というような普段とはまた違った表情が見られました。



いちほらアート×ミックス

晴れたら市原、行こう!をテーマにした「いちほらアート×ミックス」の数多くの展示会場の一つである市原湖畔美術館に足を運んで来ました。館内の作品はもとより展望塔からの湖畔に映る景色は、緑が輝いて



いて、自然と一体となった芸術も見ることができ楽しいひと時を過ごすことができました。



地域奉仕

7月30日に、吉沢町会の草刈りに、利用者さんと一緒に参加しました。朝からとても暑い日でしたが、刈った草を集めたり、ゴミ拾いを分担して行い、見違えるように綺麗になり地域の皆さんから「ご苦労様」と声をかけて頂き、利用者さんも笑顔で答えていました。これからも地域活動に積極的に参加し、地域の美化活動に努めて行きたいと思います。



グループホーム

新緑の眩しい晴天に恵まれた4月29日、グループホームの利用者さん6名、引率職員2名が、一般参加者を含む総勢約300名の養老溪谷で行われた『第25回いきいき市原ワンデーマーチ』のハイキングに参加しました。朝9時にスタートし、最初は緊張していた利用者さん達も、歩を進めるに従い、鳥のさえずりや川のせせらぎの音など開放感溢れる自然の中で、徐々に周りの人達とも和みながら、完歩することができました。一つの事を成し遂げた達成感と充実感の中、一緒に食べた昼食は格別の味がしたことでしょう。



三和福祉作業所

春の遠足

今年もやってきました、待望の春の遠足!! 6月10日に品川アクアパークに行って来ました。利用者さんと職員で会議を開き、皆で行き先を決めました。ドキドキしながら水中トンネルをくぐったり、見たこともない大きな魚や不思議な生き物に、皆目を大きく見開いて見ていました。最後はアクアパーク名物のイルカショー。光と水とが融合された幻想的なショーに、気分が最高潮に達し、割れんばかりの拍手が起こりました。



サマーレクリエーション

8月22日、三和福祉作業所のサマーレクリエーションとして、流し素麺大会が行われました。日ごとに変わる天気が続いており、天候が不安でしたが、当日は良い天気にも恵まれました。毎年素麺以外に色々流しているの、利用者さん達も「何を流すの〜?」と数日前から興味津々でした。プチトマト・ソーセージ・うずらの卵などを素麺と一緒に流しました! 素麺以外に流れてくるものを、箸で頑張って取ろうとしている姿が、とても微笑ましくありました。毎年恒例になっている流し素麺ですが、今年も皆で楽しい時間を過ごす事が出来ました。



こどもステーション三和(放課後等デイサービス)

6月10日に、遠足で『昭和の森』へ行って来ました。当日の天気が心配されましたが、みんなの願いが通じたのか遠足日和となりました。お弁当を食べた後は、広い芝生を散策して景色を楽しんだり、アスレチックやローラー滑り台で遊んだり、沢山体を動かし普段とは違う場所で、思いっきり友達と遊ぶ事が出来ました。最後にかき氷やアイスクリームも食べて、さらに大満足の様子で子供たちも職員もたくさんの笑顔が見られた楽しい1日を過ごす事が出来ました。

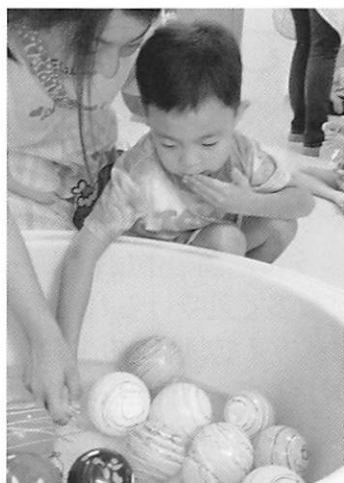


浅井小向デイサービスえん(地域密着型通所介護事業)

今年も暑さが厳しい夏となり、近隣の散策や外出が難しく室内で活動をおこなう日が多くなりました。そこで、季節行事として8月末に夏祭りを開催し、釣りゲーム・ボールすくい等のゲームコーナーや、たこ焼き機でのホットドック・大判焼き作り、かき氷作りの食べ物コーナーを用意し楽しい時間を過ごしました。



こどもステーション菊間



8月22日、こどもステーション菊間ミニ夏祭りを開催しました。当日は、ヨーヨー釣り、的当て、輪投げなど夏祭りにちなんだたくさんのゲームをして、昼食は自分たちで焼きそば作り。キャベツをちぎる、ニンジン切る、みんなそれぞれ分担して調理しました。作りたての焼きそばの匂いで、野菜が嫌いな児童も調理を経験することで苦手な野菜も少しだけ身近に感じる事ができたようで、皆笑顔で食べていました。

こどもステーション東国分寺台



8月19日(土)に調理実習として、カレー作りを行いました。子供たちは到着順に支度をして調理に取り

掛かります。まずは、包丁を使って野菜を切る作業を行ない、玉ねぎを切る時には「涙が出るよー」と言って苦戦しながらも上手に切る事が出来ました。子供たちの何名かは、炒める作業も上手に行なう事が出来、自分達で調理したカレーは格別だった様で、ほとんどの子が「美味しいー!」と言っておかわりをして食べていました。皆笑顔で参加出来て、夏休みの良い思い出になりました。

ジョブハウスもみの木



お待ちどうさま!! 喫茶もみの木では、4月よりお昼のデリバリーを始めました。「コンビニのお弁当などを食べ続けていて飽きているのでは?」という職員のアイデアで、近くの

市原市南総消防署に交渉したところ「待ってました。」と早速注文が入りました。パスタやご飯物、特にカツカレーの大盛りが好評です。今後も地域のニーズに合った販売活動に積極的に取り組んでいこうと考えています。



吉沢学園の第一パン工房で作っているパンは、毎週月曜日～水曜日の3日間限定で牛久のT-マートで販売中ですのでぜひお立ち寄りください。コーヒーパーンと生キャラメルメロンパンが人気です。

市原市生活困窮者自立支援事業

いちほら生活相談サポートセンター(市原市委託事業)

離職によって収入を得られなくなった方、公共料金や家賃を滞納してしまった方など生活上の困難に直面した方に対し、地域の中で自立した生活が送れるよう、ひとりひとり寄り添った相談対応をしています。お気軽にご相談ください。



Q:どのようなことをしてくれますか?

A:相談をお受けして、ご本人やご家族全体の課題を明らかにし自立に向けた計画を立て継続的に支援をします。

Q:相談したい場合はどうするの?費用は?

A:まず電話やメールなどでご相談ください。ご予約をお取りします。相談費用は、無料です。

◎まずはお電話を◎ ☎ 0436(37)3400

障害者グループホーム等支援事業

(千葉県委託事業)



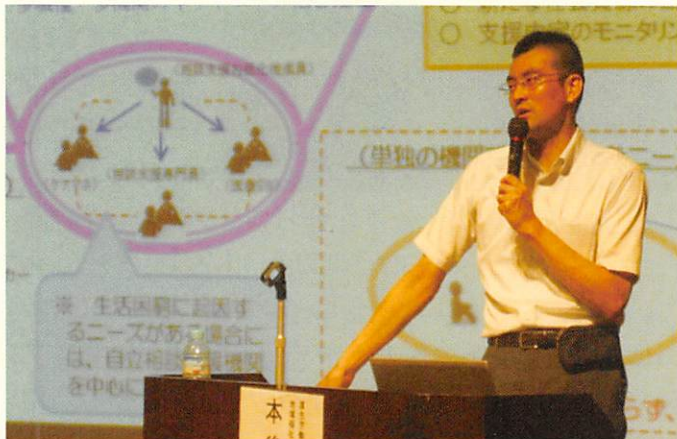
現在、親亡き後の当事者の生活を考えているなかで、グループホームについて聞きたいとの要望が増えています。7月12日市原市精神障害者家族会こすもす会から依頼を受け、「障害者グループホームとは?」をテーマに、制度や生活の様子について説明を行いました。

市原市では、年々グループホームが増えてきており、今後もグループホーム等支援ワーカーとして、制度の普及・啓発・情報提供をしていきます。

グループホームの話を知りたいというご家族や当事者などに、個別での相談も行っています。お気軽にご相談下さい。

☎ 0436(23)5300 (いちほら福祉ネット内)

「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けて



お話いただきました。その後のシンポジウムでは、若者たちの支援者と講師が『新たなつながり』を模索していくという内容の濃い大会となりました。

いちはら福祉ネットの相談支援活動の中にも、様々な困難を抱える若者たちが数多く見受けられます。今後の地域福祉を進めていくうえで、地域の課題を『我が事』に捉え『丸ごと』対応していく仕組みづくりや、地域のネットワークからこぼれ落ちている問題への新たなアプローチ方法が求められていることを強く感じる大会でした。

平成29年7月21日、【若者たちの見えない貧困を考える～『我が事・丸ごと』の仕組みづくりに向けて～】をテーマに、中核地域生活支援センター大会in2017が開催され、当日は、県内各地から294名の参加があり、盛大に行われました。

今回の大会は、地域とのつながりから遠ざかってしまう若者たち(貧困・社会的孤立)への支援を行っている方々から、子ども・若者たちを取り巻く現状を踏まえた問題提起から始まり、基調講演では、厚生労働省社会・援護局地域福祉課 本後 健室長から『我が事・丸ごと』地域づくりについて現在の国の動きを



いちはら生活相談サポートセンター(市原市委託事業)

雨も気になる一日でしたが、8月18日に吉沢学園にて、いちはら生活相談サポートセンターが行っている、学習支援事業を利用する中学生とその卒業生、学習支援員ほか総勢約70名でデイキャンプを行いました。お昼は吉沢学園の職員にも手伝ってもらいグラウンドでバーベキュー。肉や野菜、カレーライスやピザで楽しみ、午後は体育館でドッジボールなどのレクリ



エーションを行いました。デイキャンプは法人の独自事業として初の試みでしたが、普段話をしない他学年や他校の仲間と交流を深めたり、先生の意外な一面を知ったりと、夏休みの良い思い出になりました。当法人からのお土産や第2クローバー学園様からクッキーも頂き、皆さん笑顔で帰宅しました。



編集後記

イベント盛り沢山の夏!そして雨の多い今年の夏でしたが、むしろ暑さも若さで押しつけ、楽しい思い出がたくさん作れました。様々な行事を通して地域の方々と共生し、貢献していけるよう頑張ります。